

**おトクーだい**  
市民の視点で

「ワイルドライフ・サポーター」を送ってくれるよう依頼した。暴走車が暴走した野た。

生動物治療・保護の「参考書」だ。

1 身は、八九年  
 1 月に完成。計  
 六で、三十三  
 人に郵送した。

発行まで一カ  
月かかった。と  
にかく症例を集  
めなくてはな  
獣医仲間をほ

めいしやーや博物館の学芸員ら自然保護にかかわっている知人に電話をかけ、経験談

ケ方をしたシカを保護中の  
獣医宅に出向いて見せてもら  
い、ハクチヨウを治療した人  
を訪ねて話を  
聞いた。集め  
た事例は慣れ  
**保護**

# 保護の難しさを痛感



## 治療・保護の事例をまとめる

るのが編集方針だ。  
失敗例から学ぶことは多い。

リポートを読む  
と、野生動物の保護  
活動に携わる人たち  
の真摯（しんし）な態度  
や苦労が伝わって  
くる。

いた鳥が突然死んだことに対する落胆ぶり。オオタカは爪をだてられ、手が二倍に膨れ上がった話。

運動途中、カニ松林で見か  
けた多丸を「自分が助けたあ  
の多丸ではないか」と問ふ。  
きかぬ。野鳥の名の会費。  
シヤの多丸を捕まえたため虫  
捕の網に入らなかつた手を責  
め、

**痛感** 医療の専門  
家から「素人」  
までが、それぞれの立場で、  
警告を寄せている。

「参考書」作りを進めると、だに、改めて野生動物の治療・保健の難しさを痛感するものも多い。

治療にかかる時間は、実はいくらでも、むしろ野生復帰のためのいくつかに必要は時間と努力の何と膨大なこと

衰弱したシマウクロを引  
き受けたる數匠は、詰り  
無事放鳥できたことに對する  
市実處を語るに、**「た  
いへん迷惑だった」**と語つて  
いる。

半年にわたり、つばな飛行  
訓練に骨を折った人ならば  
の率直な感想だろう。

[illegible]

「ロイヤル・サボート」はその後、「サボート」を改題し、三ヶ月に一回のペースで出されていく。

**おトクなポイント**  
市民の視点で

森田さんはこの春、中標津から中春別の家畜診療所へと異動になった。

いのお父の姿、  
若生時代、先輩  
藝匠の「タビハ  
持ち」しじい様  
が回り文脈に出  
張る地域だ。

広大な原野が  
 どこまでも続い  
 ている。ここか  
 ら見る壮大な落  
 日に、魂を奪わ  
 れるような感動  
 を覚えたものだ

つがひ 和光口の森田さん

の心を捕らえて離さなかった  
「大自然」はもう、そこには  
なかった。

自分の目を疑った。木がな  
くなくなってい  
る。原野では  
なく、砂漠の

**同郷**

# 同郷の仲間救いたい



西へ東へ、今日も走る

ちんちんしたまへにうへ。  
 ちんちんしたまへに。監獄に  
 ちんちんしたまへに。佳彦  
 中に、ちんちんしたまへのロウ  
 ちんちんしたまへのちんちんしたまへの  
 ちんちんしたまへのちんちんしたまへの  
 監獄に。車を出して  
 ちんちんしたまへのちんちんしたまへの  
 だ。

藤田さんと眞矢さんは、  
いそがしく、「開港」な  
って野生動物の生息域は狭  
まられる一方、自分たちが  
やいの風で一匹匹を殺し  
殺しているほど、数匹匿  
れど鳥や獣が狩猟と毒餌に  
駆除に殺されている。こ  
うに環境の中で、自分を  
の活動によって意味がある

〇お」<sup>1</sup>。  
 いくら酒飲つたも、骨折は  
 りのけたを食つた鳥獣はな  
 が、野生に還つしむたきま  
 りはせにやこ」<sup>2</sup>。酒。「くち  
 まひふたはふゆあ」<sup>3</sup>。KK  
 xふたひくを助ふしむた  
 べた」<sup>4</sup>。ふたひくはゆ。

たに

「大抵皆主動物の生命を殺  
むといふが、大抵は直接を殺す  
一途に過ぎぬ」と言つてゐるが  
いゝ。やがて、轉じて動物を  
害せしむる人々の罪状を無駄  
になつてゐる。

森田さんといふまじの醫國  
大に主の言をまじへた。「動  
物愛のあらたさ」（なつと書  
屋）と言つた。

その中で森田さんは「(生  
じが診たら) じまの生医から  
名実ともに獣医く、獣医く、  
やいばち来るならやいばち勉強  
じし、動物医にならたら」と  
言っていました。

「何のウツリもたならね  
ど、同じ北海道に生きている間  
なちを救つてあげたら——」  
勤務時間中は獣医、そして  
アフターナは隣人は野生  
動物の主治医。「動物医」  
なちは今日も、西へ東へ、汗  
をかきかき走り回っている。  
(第340話終わり)

読、情報をも日本経済新聞社  
会部「ザ・リーディング」取材班  
（東京）03-32770000  
大阪06-89430111に電話してください。

動物医走る

動物医走る